

保護者様

名古屋市立桜田中学校長  
松浦良治

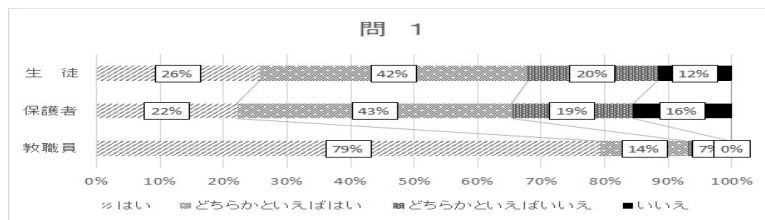
学校評価アンケートの結果から

余寒厳しき折、保護者の皆様には、ご健勝のことと存じます。また、日頃は、本校の教育活動に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

先日は、学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。生徒、保護者、職員のアンケート結果と考察をお伝えさせていただきます。なお、学校ホームページ (<http://www.sakurada-j.nagoya-c.ed.jp>) にも掲載いたしますので、ご覧ください。

**質問1**

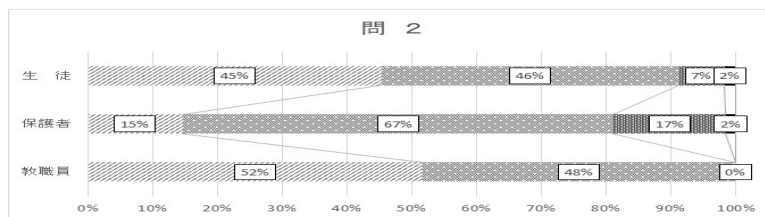
生徒：わたしは、学校努力点「学びの笑顔と温かな心があふれる生徒」を覚えている。  
保護者：わたしは、学校努力点「学びの笑顔と温かな心があふれる生徒」を知っている。  
教職員：わたしは、学校努力点「学びの笑顔と温かな心があふれる生徒」を知っている。



☆ 生徒の認知度が68%にとどまっています。生徒・教職員が一丸となって、学校努力点達成に向けて取り組むことができるようになるためには、もっと生徒の認知度を上げる必要があると考えています。

**質問2**

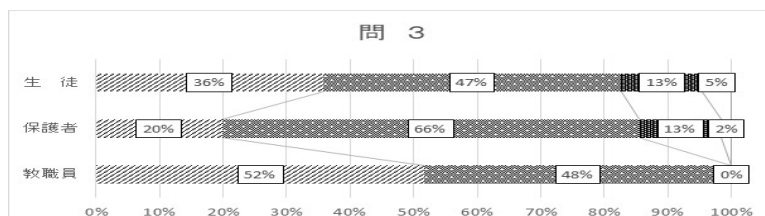
生徒：授業では、「分かった」「できた」と実感できることがある。  
保護者：桜田中学校は、生徒が「分かった」「できた」と実感できる授業を行うように努めている。  
教職員：わたしは、授業で生徒が「分かった」「できた」と実感できるように工夫している。



☆ 91%の生徒が、授業に対して「分かった」「できた」という実感をもっています。今後も指導法の工夫をし、全校生徒に「分かった」「できた」と感じてもらえるように努力していききたいと思います。

**質問3**

生徒：先生は、わたしたちの気持ちを聞いてくれ、理解してくれる。  
保護者：桜田中学校は、一人一人の生徒の声に耳を傾け、生徒の気持ちを理解し、生徒に寄り添った指導を心掛けている。  
教職員：わたしは、生徒指導の場面等で生徒の声に耳を傾け、生徒の気持ちを理解するように努めている。



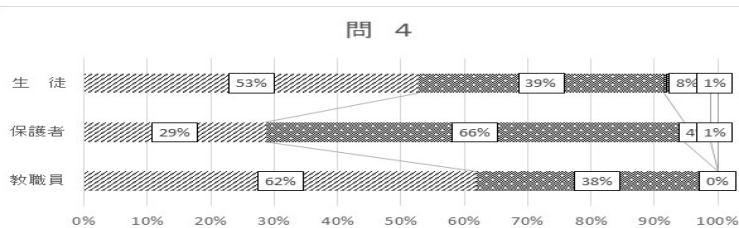
☆ 教職員は、生徒の気持ちを理解していると考えていますが、18%の生徒がそうではないと感じています。これまで以上に、生徒が気持ちを打ち明けやすい環境・関係づくりを目指して努力していききたいと思います。

#### 質問4

生徒：先生は、良いことや努力したときに褒めてくれる、悪いことをしたときには、きちんと指導してくれる。

保護者：桜田中学校は、良いことや努力したときに褒め、悪いことをしたときにきちんと指導するように努めている。

教職員：わたしは、良いことや努力したときには褒め、悪いことをしたときには、きちんと指導している。



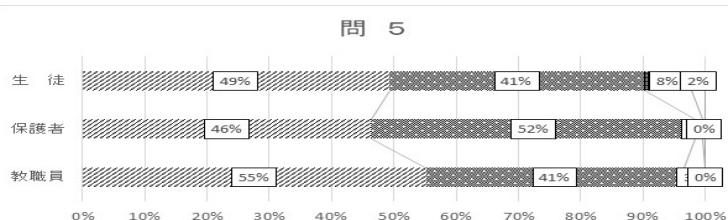
☆ 92%の生徒が「あてはまる」と回答しています。より一層、生徒の善行に目を向け、褒めることができる場面を増やすとともに、善悪の判断もきちんと伝えられるように心掛けていきたいと思います。

#### 質問5

生徒：先生は、行事や学級活動の中で、学級の仲間が協力し合い、高め合うような機会をつくってくれる。

保護者：桜田中学校は、行事や学級活動の中で、学級の仲間が協力し合い、高め合うような機会をつくらうと努めている。

教職員：わたしは、行事や学級活動の中で、学級の仲間が協力し合い、高め合うような機会をつくっている。



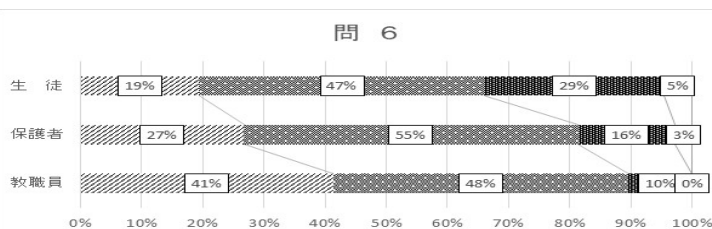
☆ 生徒が90%、保護者が90%を越えて、「あてはまる」という回答をしています。本校の教育活動が各々の成長につながると感じていただけているのではないのでしょうか。今後も続くように努力していきたいと思います。

#### 質問6

生徒：桜田中学校は、教室や廊下など清掃の行き届いたきれいな学校だ。

保護者：桜田中学校は、清掃が行き届いていて、きれいに保たれている。

教職員：わたしは、清掃が行き届いていて、きれいに保たれるように指導している。



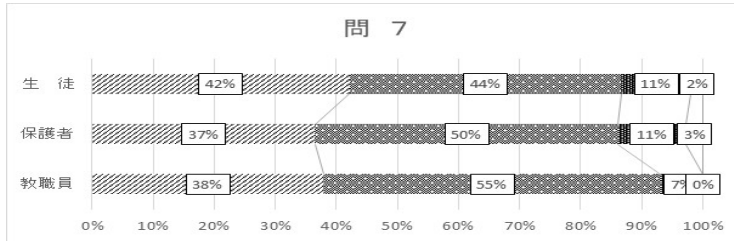
☆ 34%の生徒が、「清掃が行き届いていない」と感じています。これは、「もっときれいにできる」という気持ちの表れだと思います。「自分たちの学校を自分たちで美しく保つ」という意識をもたせたいと思います。

### 質問7

生徒：わたしは、意欲的に授業に取り組んでいる。

保護者：わたしの子どもは、意欲的に授業に取り組んでいる。

教職員：生徒は、意欲的に授業に取り組んでいる。

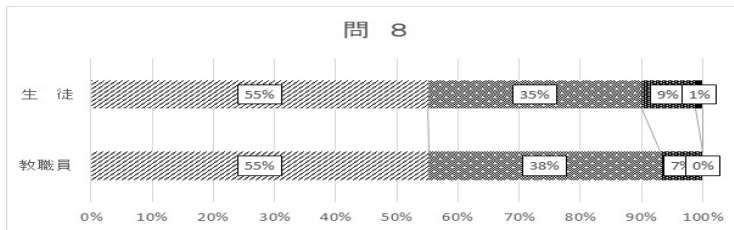


☆ 「意欲的に授業に取り組めていない」という生徒が、意欲的に授業に取り組むことができるように、授業を改善する必要があると思います。原因を追求し、全員の生徒が前向きに授業に参加できる授業づくりをしたいと思います。

### 質問8

生徒：わたしは、チャイム始業を意識している。

教職員：生徒は、チャイム始業を意識している。



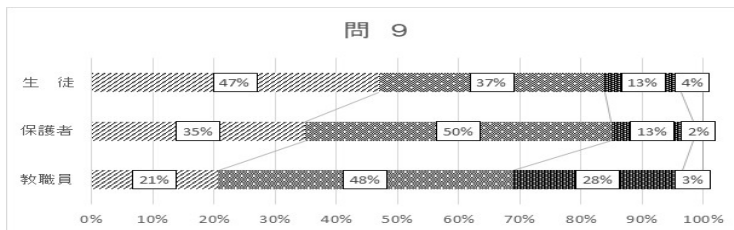
☆ 全体としては、「チャイム始業」を意識し、行動できていると思います。しかし、確立した生活習慣もほんの少しの気の緩みで崩れてしまいます。全校生徒が高い意識をもって、これからも取り組んでほしいと思います。

### 質問9

生徒：わたしは、自分からあいさつしている。

保護者：わたしの子どもは、自ら進んであいさつしている。

教職員：生徒は、自ら進んであいさつしている。

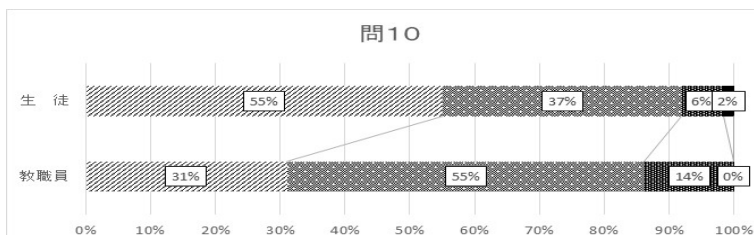


☆ 「あてはまる」と回答した生徒と教職員の割合のずれがかなり縮まってきました。以前に比べ、自然にあいさつが交わせる生徒が増えているように感じます。これからも、「**自ら進んで**」のあいさつが増えることを期待しています。

### 質問10

生徒：わたしは、清掃活動をしっかりと行っている。

教職員：生徒は、清掃活動をしっかりと行っている。



☆ 92%の生徒が、「あてはまる」と回答していますが、質問6の結果とのずれを感じます。清掃活動に取り組む様子がよいのであれば、学校はきれいに保たれているはず。もう一度、清掃の様子を振り返ってみましょう。

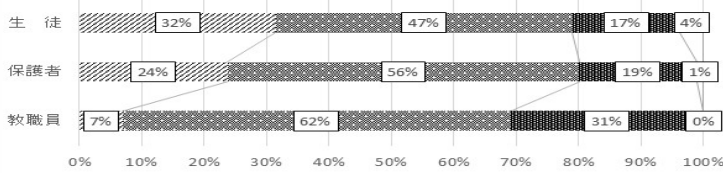
### 質問11

生徒：わたしは、困っている人に声を掛けている。

保護者：わたしの子どもは、困っている人に声を掛けている。

教職員：生徒は、困っている人に声を掛けている。

問 11



☆ よく「あてはまる」と答えている割合が、生徒と教職員ではかなりずれています。教職員から見ると、もっと声を掛けてほしい場面があるのでしょうか。勇気がいるかもしれませんが、積極的な声掛けをしてみましょう。

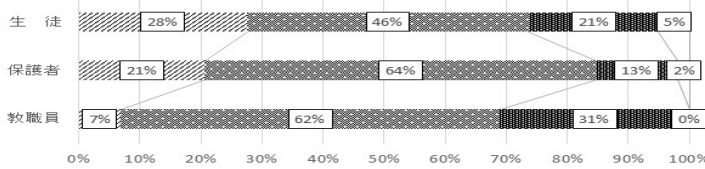
### 質問12

生徒：わたしは、困っている人にさりげなく手を差しのべている。

保護者：わたしの子どもは、困っている人にさりげなく手を差しのべている。

教職員：生徒は、困っている人にさりげなく手を差しのべている。

問 12



☆ 学校努力点の重点項目に、今年度から付け加われました。問11と同じような傾向を示しています。声を掛けることよりも、手を差しのべることは難しいですが、積極的にチャレンジしてみましょう。

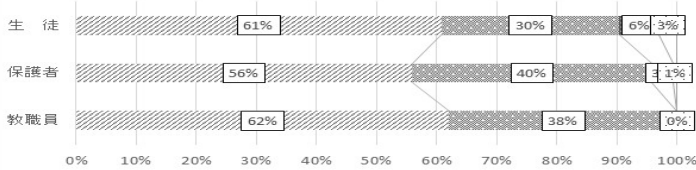
### 質問13

生徒：わたしは、修学旅行、稲武野外学習、体育大会、合唱コンクールなどの行事に意欲的に取り組んでいる。

保護者：わたしの子どもは、学校行事に意欲的に取り組み、楽しむことができていた。

教職員：生徒は、修学旅行、稲武野外学習、体育大会、合唱コンクールなどの行事に意欲的に取り組んでいる。

問 13



☆ 三者とも、「あてはまる」割合が大部分を占めています。総合学習や特別活動の成果が上がっていると考えます。今後も、生徒が意欲的に取り組むことができる課題を設定し、より効果の高い教育活動を目指していきたいと思います。

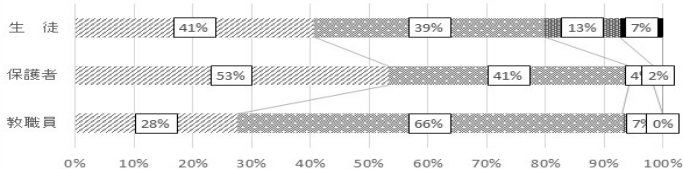
### 質問14

生徒：わたしは、学校に通うのが楽しい。

保護者：わたしの子どもは、毎日楽しく学校へ通うことができています。

教職員：生徒が楽しく学校へ通っていると感じる。

問 14



☆ 毎年、20%程度の生徒が「楽しく学校に通うことができていない」と回答しています。大人が気付かない「悩み」を抱えているのかもしれませんが、生徒に寄り添い、全校生徒にとって、楽しい学校づくりを目指します。